

わかりやすい 藤沢市の財政

2011

平成23年度予算と平成21年度決算から
藤沢市の財政状況を見てみよう

よりわかりやすく、新たに入門編を掲載!



藤沢市の財政状況を
わかりやすく
解説しました。

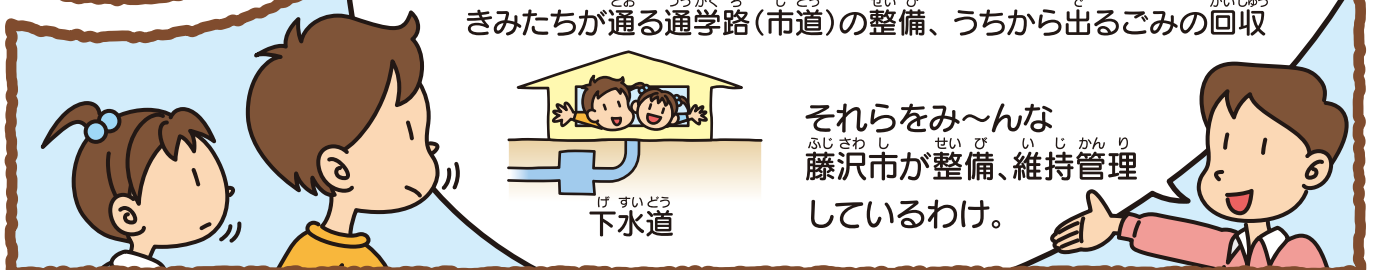
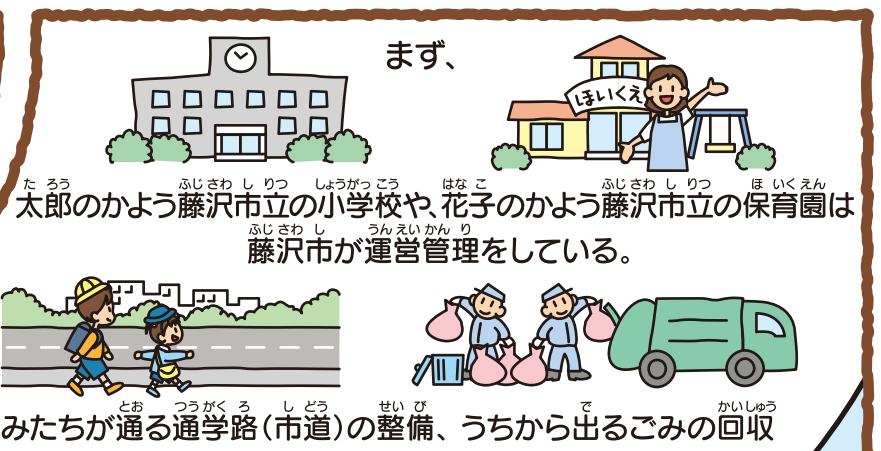
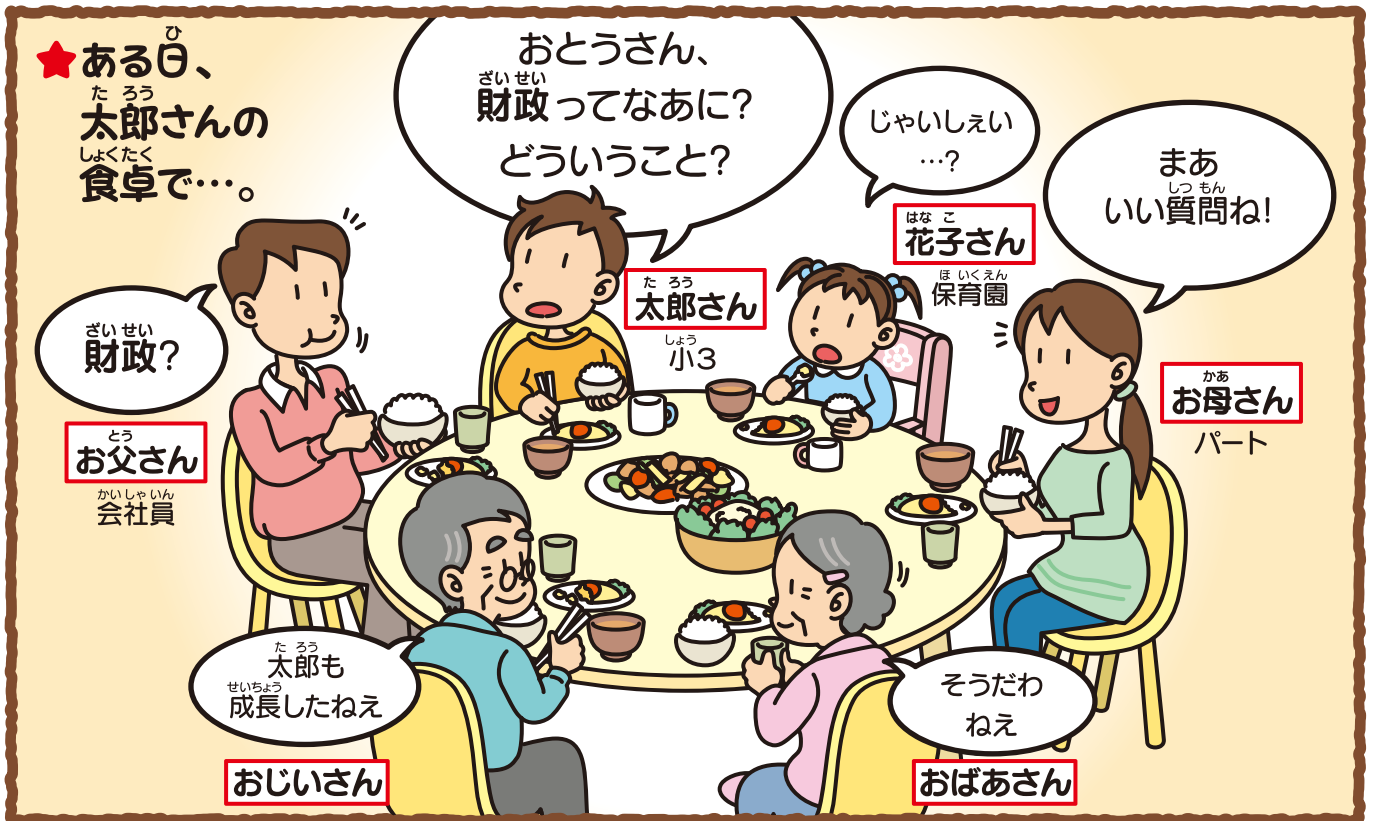
藤 沢 市

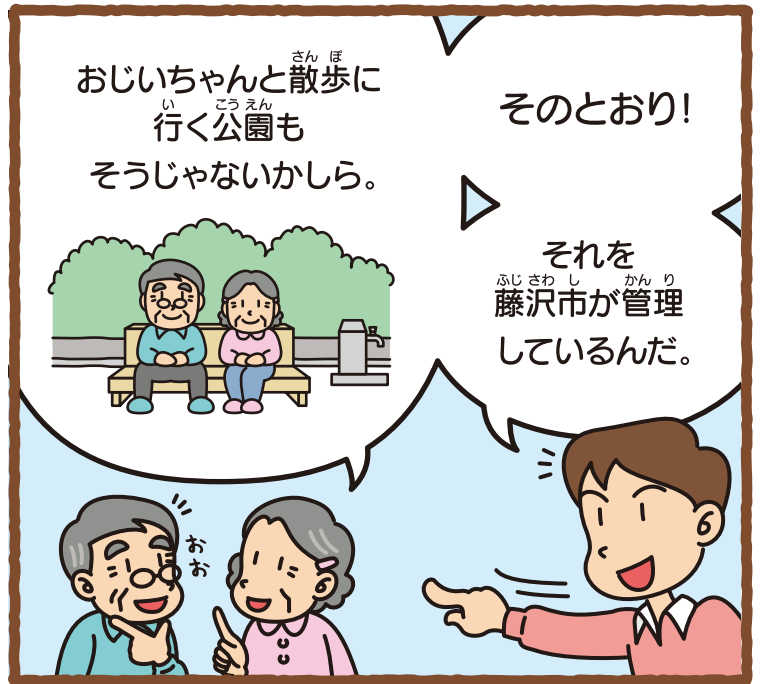


- もくじ ●1 みんながわかる財政のはなし(入門編) ……1
●2 市民生活を支える財政 ……7
もっと知りたいあなたに
●3 平成23年度予算を見てみよう ……8
●4 藤沢市の台所事情は? ……13
●5 藤沢市の借金はどうなっているの? ……17
●6 財務諸表でわかる藤沢市の財政状況 ……21
● 藤沢市の借金時計 ……裏表紙

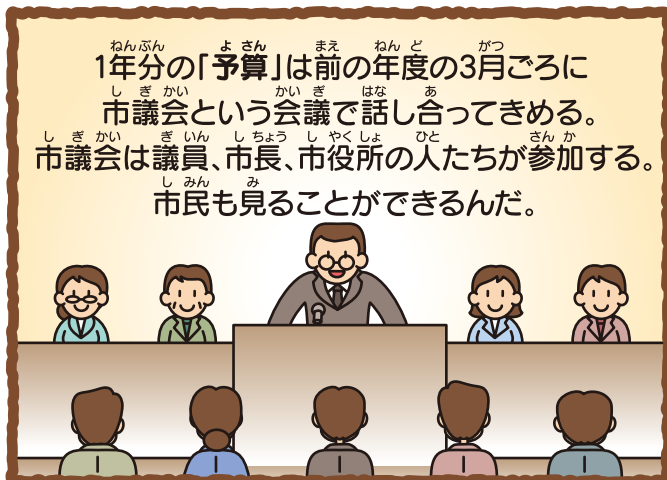
みなさんは「ざいせい財政」ということばを聞いたことがありますか？ ふじさわし藤沢市の「ざいせい財政」はみなさんの生活と密接に関係しているといえます。ここでは、主人公 しゅじんこう藤沢太郎さん（しょうがく小学3年生）と太郎さんの家族の生活をとおして、ふじさわし藤沢市の「ざいせい財政」がどのようなものかをみてみます。

1 「ざいせい財政」ってどういうこと？





2 「予算」ってどうやってきめるの？



ここで問題です!

Q1. 神奈川県には、横浜市や川崎市などの大都市も 含めて19の市がありますが、 藤沢市の「一般会計」の「予算」の額の多さは 19市のうち何番目でしょうか?

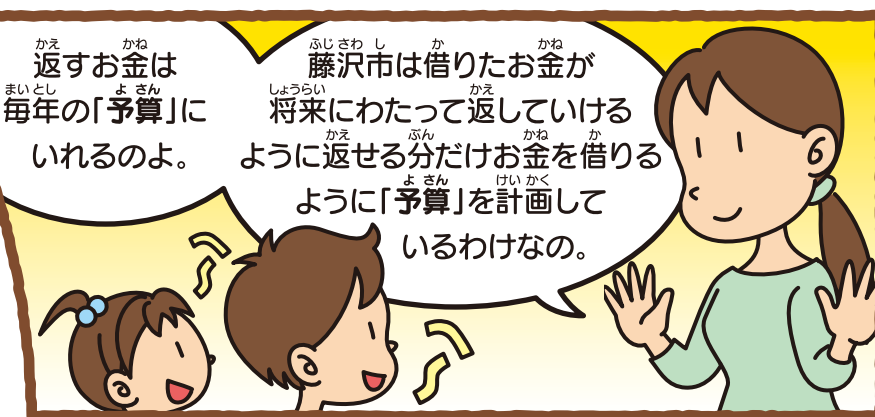
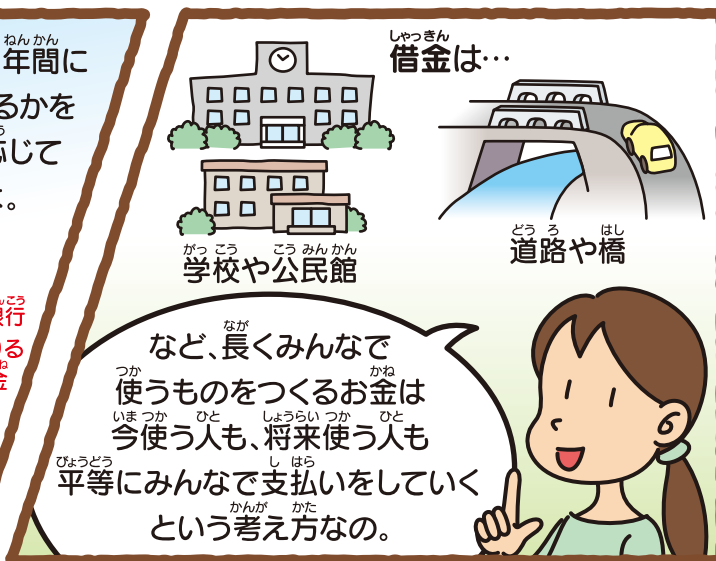
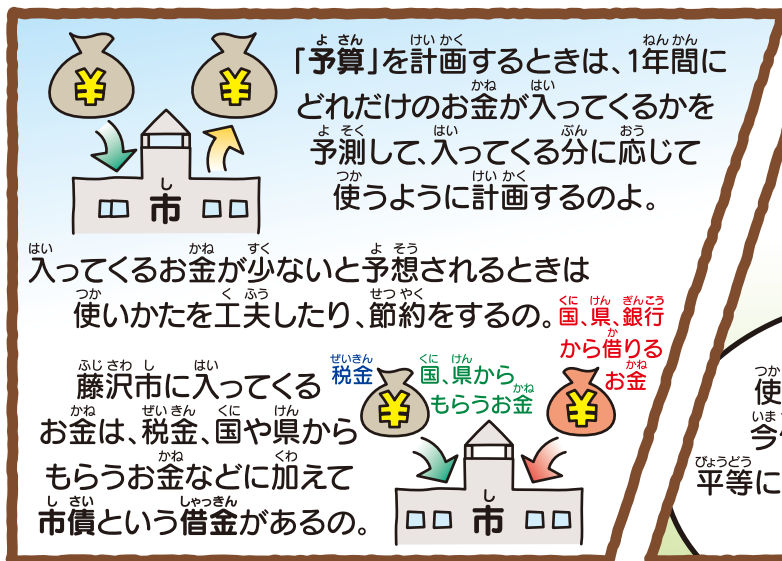
- ①1番目 ②5番目 ③10番目

クイズのこたえは、このページの下にあります。



Q1のこたえ：② 横浜市、川崎市、相模原市、横浜原市、横須賀市に次ぐ5番目です。

3 つか かね かね あつ 使うお金はどうやって集めるの？





それではふたたび問題です!



Q2. 藤沢市の「借金」は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ① およそ400万円
- ② およそ40万円
- ③ およそ4万円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



コラム

借金してもダイジョブ?

藤沢市はどのような理由で借金をするのでしょうか。
太郎さんの通学する小学校の建て替え工事に例えてみましょう。

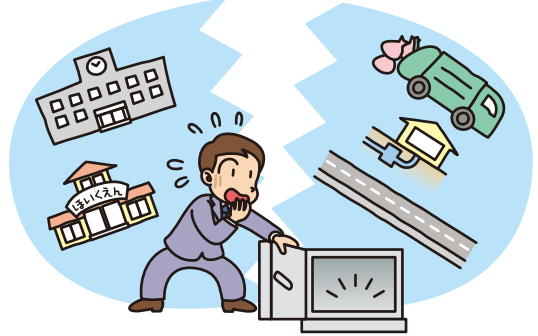


もしも...



小学校の建て替えに
20億円以上の支払いが必要です

結果



一度に払ってしまうと、小学校、保育園の運営管理、
通学路の整備、ごみの回収、下水道の維持管理にお金がたりない

そこで...

学校の校舎などずっと使用していくものは、今使う人も将来使う人も平等に
みんなで支払いをしていくことにしているのです。



藤沢市が集めたお金のほかに借金をします



長い間に分けて借金を返していきます





それでは最後の問題です!

Q3. 藤沢市の「貯金」(「基金」)は
市民1人あたりいくらでしょうか?

- ①おおよそ30万円
- ②おおよそ3万円
- ③おおよそ3千円

クイズのこたえは、このページの下にあります。



全問正解
するぞ!

4 藤沢市のお金がどのように使われたかはどうやって確認するの?

「予算」を
1年間でどのように
使ったか確認することを
「決算」
というんだよ。

4月から3月までの1年間に
使ったお金を、次の年度の
9月ごろに「市議会」という
会議で確認するんだ。

「予算」が計画どおりに
使われたか、市民にきちんと
お知らせするんだ。

議長

市議会

おじいちゃんは
モノ知りだから。

市役所の人たちは
「決算」の内容を
いろいろ分析したり
するんだよ。

「決算」でわかったことや、
市議会で出された意見などを
次の「予算」を計画するときに活かして
よりよい「財政」にする
ということだ。

そうだね。

通信簿みたい
だね!

ニューシンボ
だー

入門編はここまで。次のページからは「財政」の詳しいことが書いてあります。

2

市民生活を支える財政

1 財政は市民のニーズにもとづき必要なサービスを提供するという重要な役割をはたしています。

地方公共団体が行う行政サービスや公共事業などの行政活動を経済的な面からとらえたものを財政といいます。

1年間の収入見込をもとに、どの事業にどれだけ支出していくかを計画したものが予算であり、その計画にもとづきどのように執行したのか、実績と成果を明らかにしたものが決算です。



- 財源としての収入の見込み
- 事業実施規模の見込み

財政的な計画



予算

実施

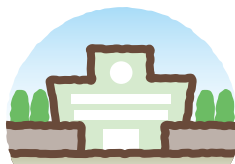
●みなさんの生活のなかのさまざまな行政サービス



道路の建設・維持管理



ごみ・資源の収集



小・中学校の管理



高齢者への福祉サービス



保育園での保育サービス



体育館・図書館の運営

こうしたたくさんの行政サービスを行っていく上で必要となるお金をやりくりしているのが財政であり、市民生活を支えるとても重要な役割を果たしています。

日常生活に関わりの深い主な行政サービス

- 防災・安全対策
- 広報紙などによる広報活動
- ごみと資源の収集
- 検診や予防接種などの健康事業
- 学校の管理
- 高齢者等への福祉サービス
- 道路・公園の整備
- 公民館・スポーツ・文化施設の利用
- 消防・救急活動
- 緑地保全

3

もっと知りたいあなたに 平成23年度予算を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,246億
6,100万円

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金の出し入れするお財布です。

一般会計

平成23年度の当初予算の額は、1,246億6,100万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など9の特別会計があります。

687億
7,063万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費11億9,173万円
- 競輪事業費35億6,563万円
- 墓園事業費3億7,592万円
- 国民健康保険事業費377億1,304万円
- 地方卸売市場事業費2億1,766万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費...10億 678万円
- 湘南台駐車場事業費1億4,790万円
- 介護保険事業費205億6,914万円
- 後期高齢者医療事業費39億8,283万円

348億
9,186万円

最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通の会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

公営企業会計

藤沢市には、下水道と病院の二つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費173億5,010万円
- 市民病院事業175億4,176万円



全会計 **2,283億2,349万円**

2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況ですか?



では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成23年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

自主財源
852億4,736万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。

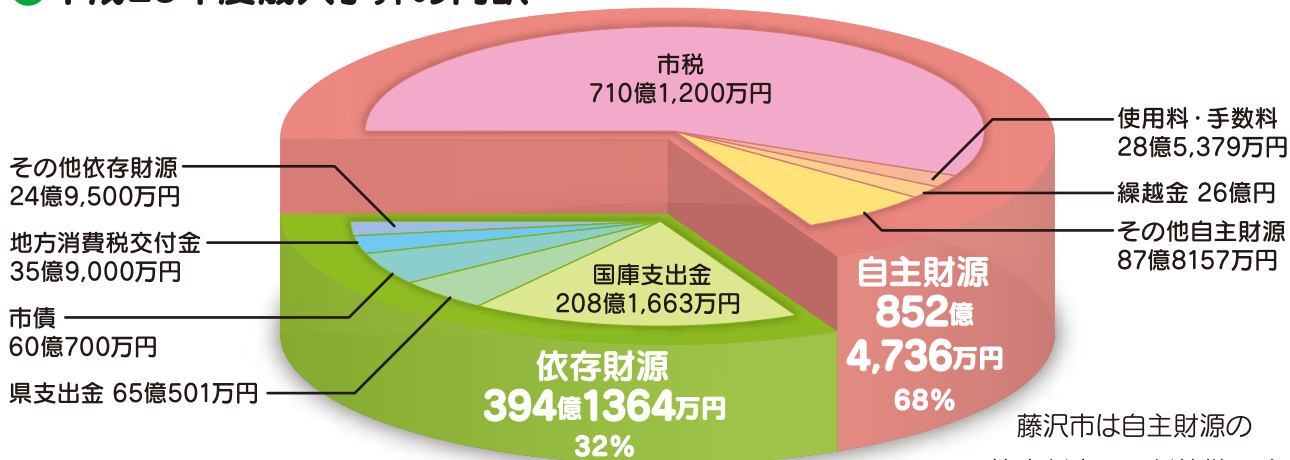


依存財源
394億1,364万円

道路や施設をつくるときに国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

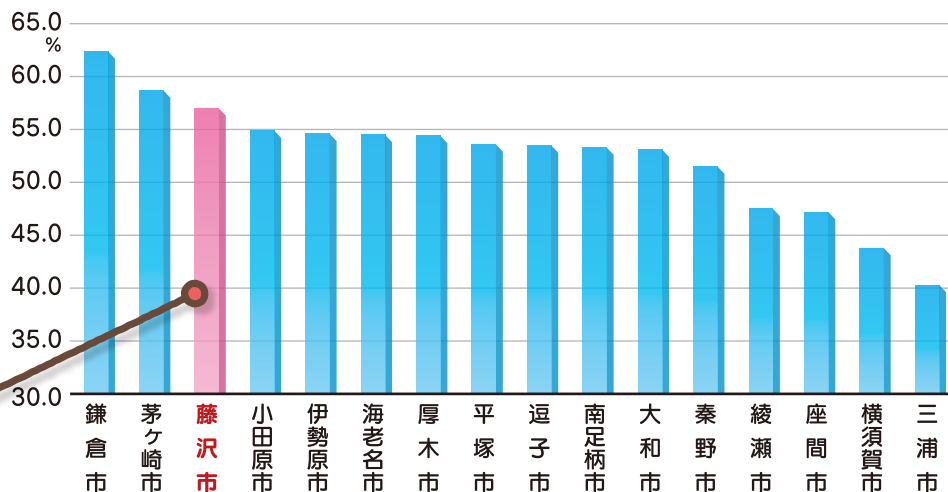


●平成23年度歳入予算の内訳



●歳入予算に占める市税の割合

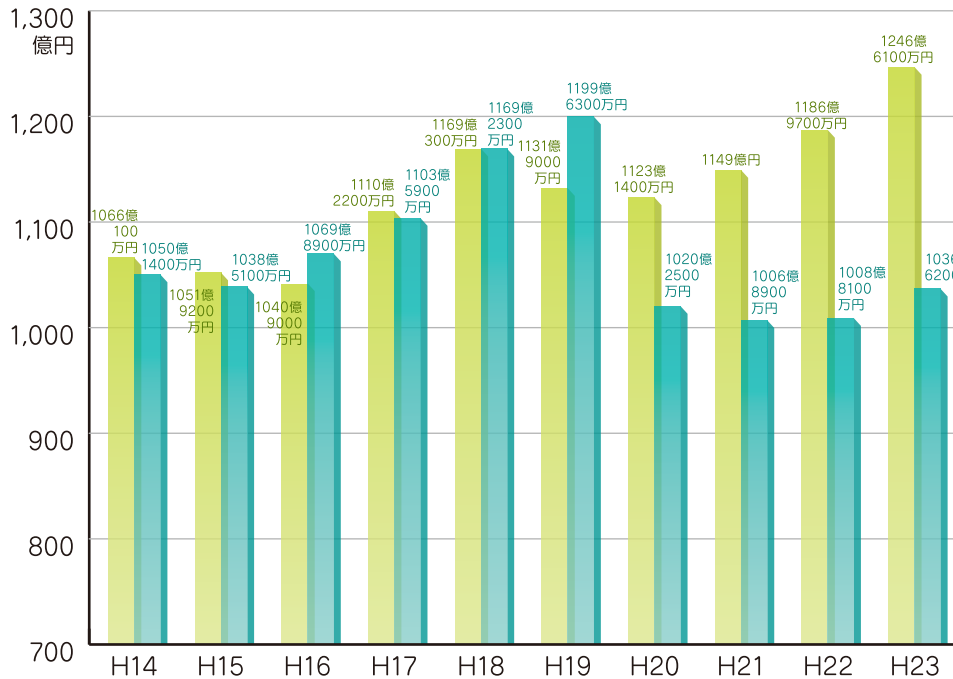
藤沢市は
県内16市中
第3位です



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計

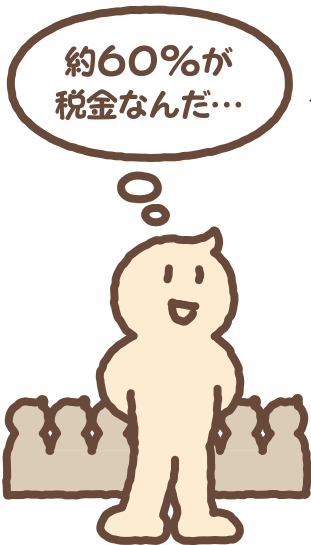
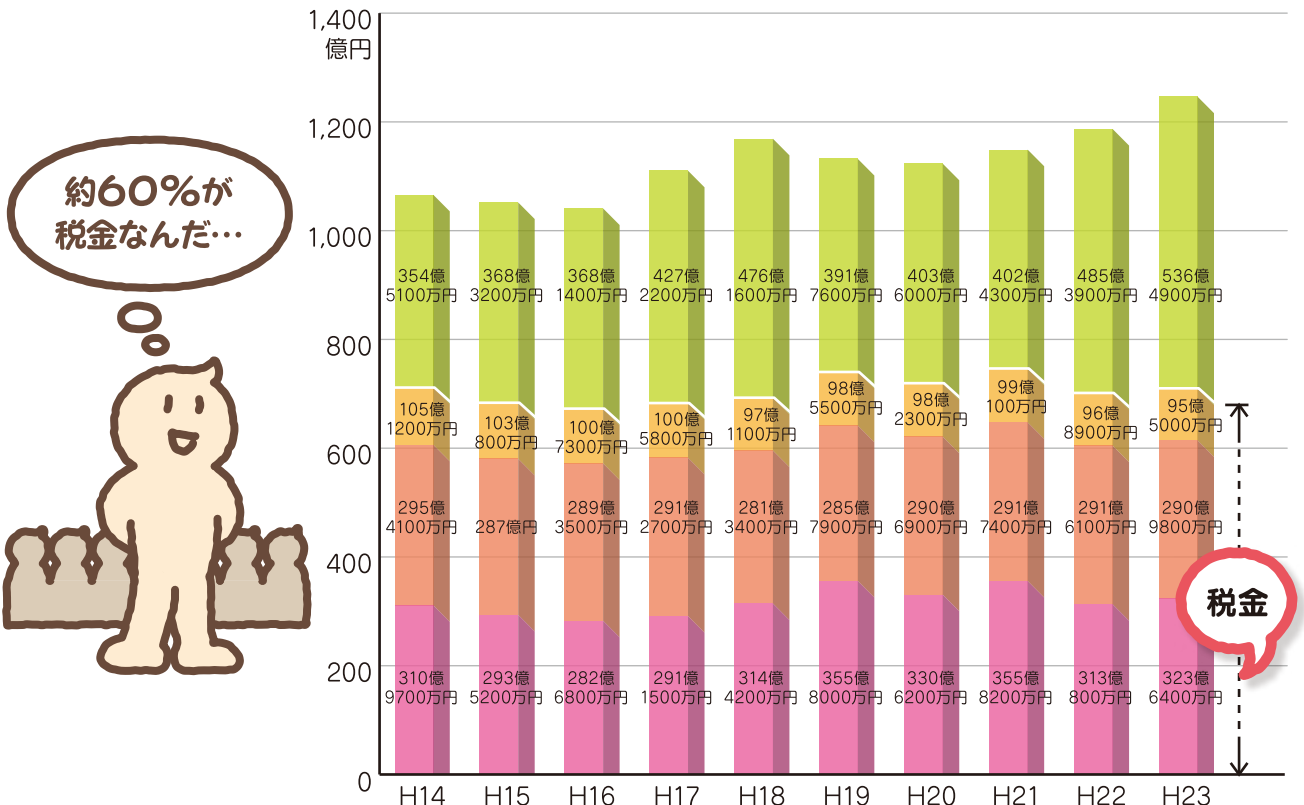


一般会計の予算規模は主に扶助費の増加により拡大傾向です。平成23年度は扶助費のほか、道路や学校など社会資本の整備費の増により増加しています。

特別会計は国民健康保険事業における医療給付費や介護保険事業における介護給付費の伸びなどにより増加しました。

● 一般会計歳入予算に占める市税の推移

■ 市民税 ■ その他の市税
■ 固定資産税 ■ 市税以外の収入



市民税や固定資産税など市税収入の歳入予算全体に占める割合は、平成21年度までほぼ毎年60%を超えていましたが、景気後退の影響を受け平成22年度は59%、平成23年度は57%となっています。

3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況ですか?

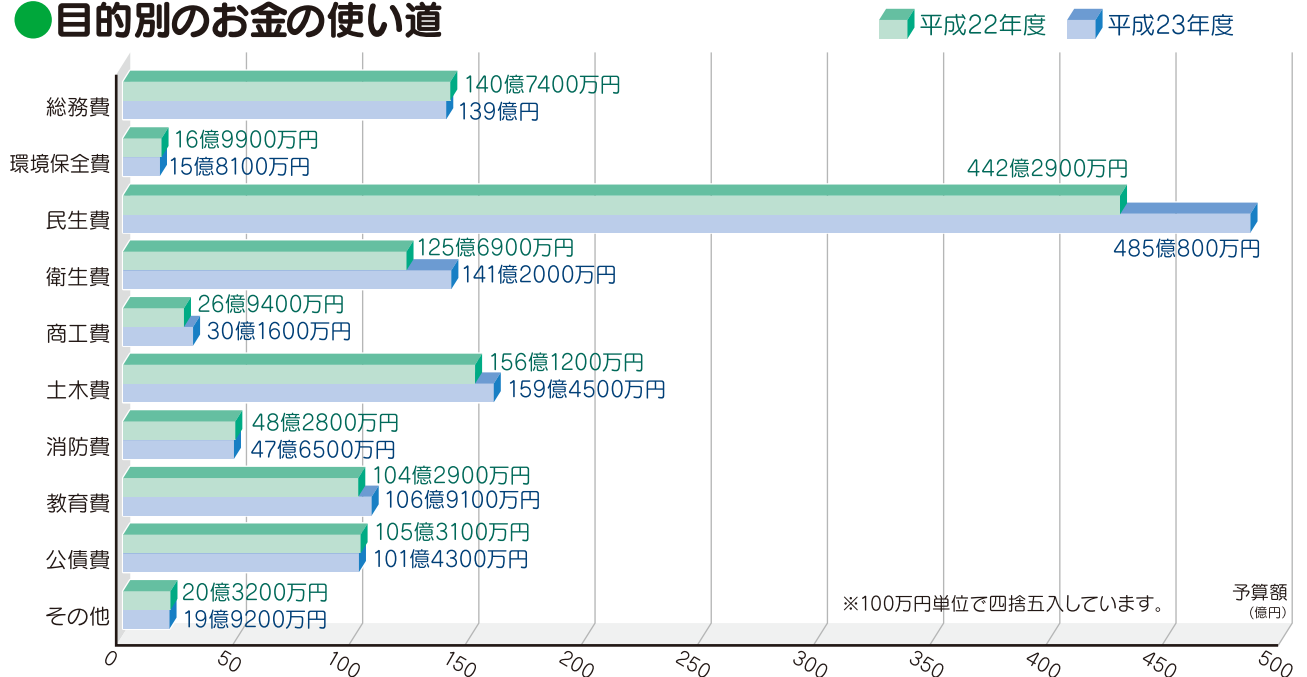
入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出について見てみましょう。

市では、道路や学校を作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。

では、何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



● 目的別のお金の使い道



総務費
市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害防止や緑地の保全などに使われます。

民生費
保育園の運営費、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園をつくらしたり、市営住宅の管理などに使われます。

消防費
消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路をつくる時に、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

その他
農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。

4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えて
みると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	710億1,200万円	人件費	262億 348万円
使用料、手数料など	142億3,536万円	扶助費	310億3,743万円
【自主財源合計】	852億4,736万円	物件費	200億6,073万円
国・県支出金など	334億 664万円	投資的経費・維持補修費	132億2,443万円
市債の発行	60億 700万円	公債費	101億3,729万円
		繰出金・補助費など	208億1,835万円
		積立金・貸付金	31億7,929万円
収入の合計	1,246億6,100万円	支出の合計	1,246億6,100万円

家計簿に例えると…

こんな感じかな…

収 入		支 出	
お父さんの給料	23万3,000円	食 費	8万6,000円
お母さんのパート代	4万7,000円	医療費・保育料	10万2,000円
【給料等の合計】	28万円	光熱水費や被服代	6万6,000円
その他臨時収入	11万円	家の増築・修理、家財購入	4万4,000円
銀行からの借入	2万円	住宅ローン返済	3万3,000円
		子どもへの仕送り	6万9,000円
		貯 金	1万円
収入の合計	41万円	支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 809億6,165万円 家計簿では 324万7,300円
預貯金の残高(基金残高) 109億6,850万円 家計簿では 44万円

※平成21年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で68.4%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

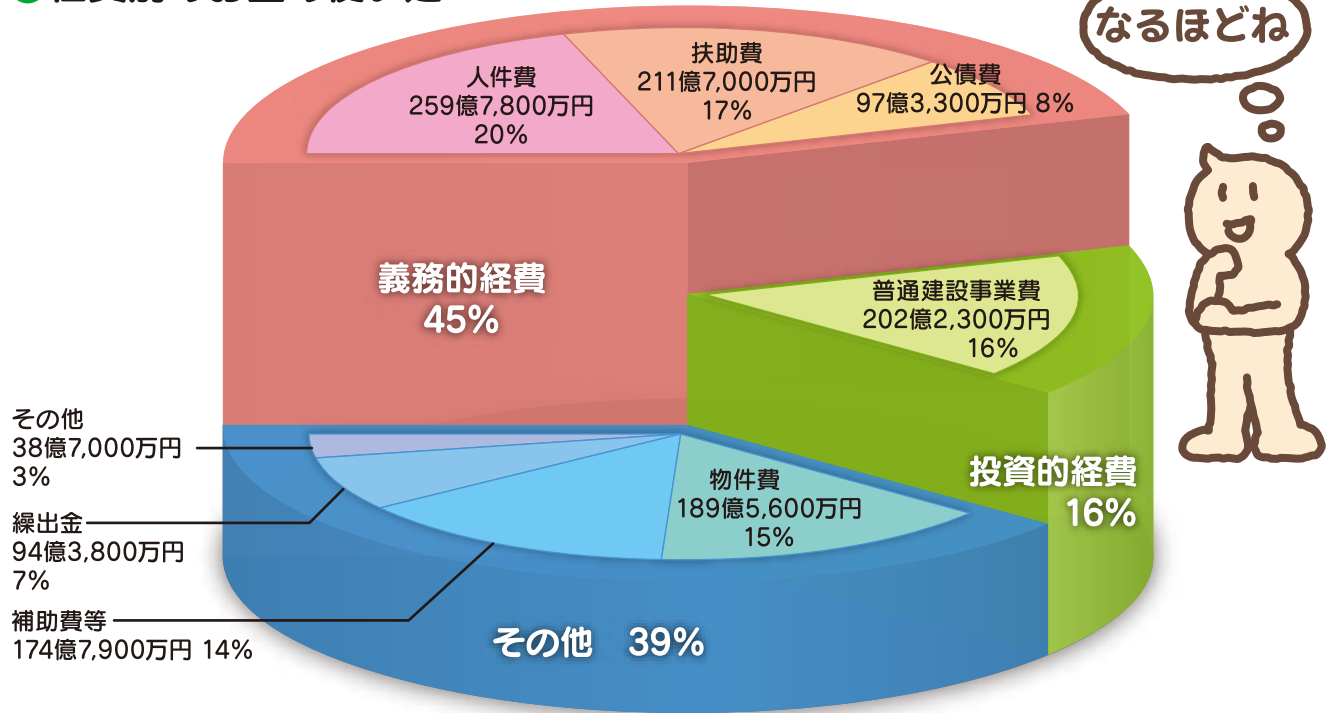


4

藤沢市の台所事情は？

① 今度は平成21年度普通会計決算から藤沢市の台所事情を見てみましょう。

● 性質別のお金の使い道



扶助費
生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために使われます。

公債費
国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。

普通建設事業費
道路、橋りょう、公園、学校などの社会資本の整備に使われます。

補助費等
下水道事業や病院事業に対する負担金、幼稚園や保育所への補助金などに使われます。

繰出金
国民健康保険事業や土地区画整理事業などに対して事務費や建設費を援助するために使われます。

★ 普通会計とは？

他市町村との比較に使用します。市町村ごとに会計の範囲が異なり、財政状況の比較が困難なため、統計上用いる会計区分です。

藤沢市の普通会計は、一般会計と3つの特別会計(墓園事業費、北部第二(三地区)土地区画整理事業費、柄沢特定土地区画整理事業費)です。



2 義務的経費が年々増えてきています。

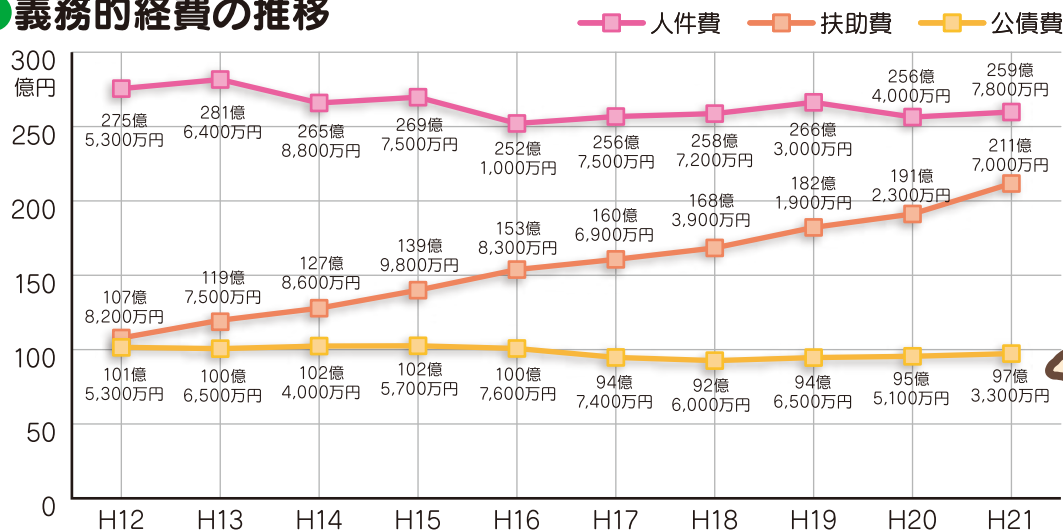
人件費、扶助費、公債費は毎年の支出が義務づけられ節減することが難しいため「義務的経費」と分類されます。

義務的経費の割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなり、新しい市民サービスや公共施設の建設などが難しくなります。

それでは、義務的経費の10年間の推移を見てみましょう。



● 義務的経費の推移



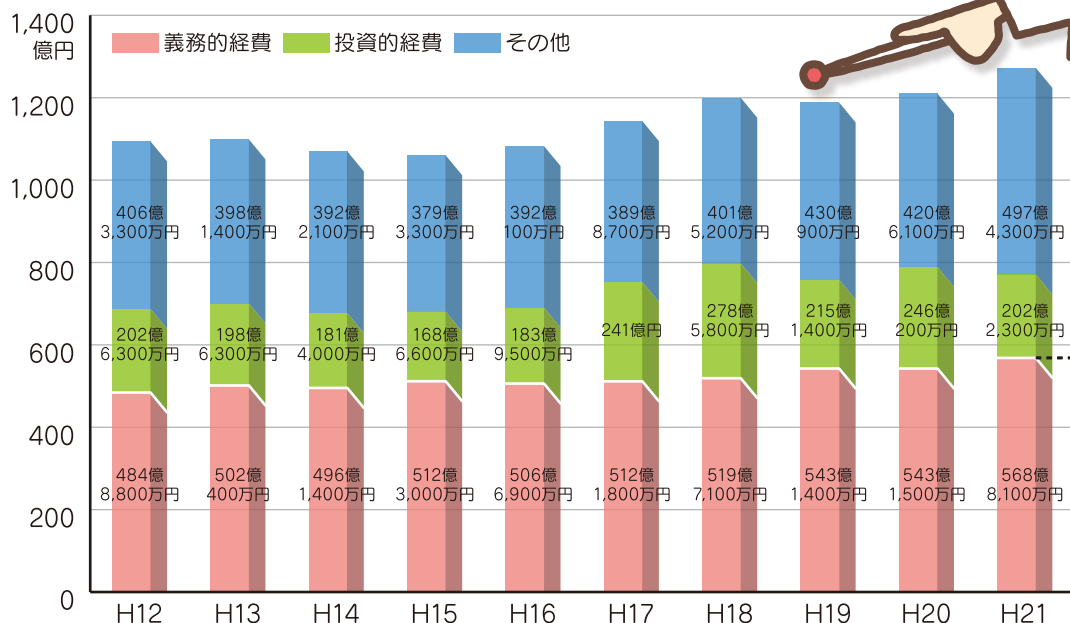
人件費は平成10年度をピークに、増減はありますが定員削減などにより減少してきています。

扶助費は10年間で約104億円増加しました。平成12年度は介護保険事業がスタートして減少しましたが、それ以降は毎年平均で7.8%、約11億円ずつ増加しています。

公債費は、10年前より減少していますがほぼ横ばい状態です。

歳出全体に占める義務的経費の割合はどうなっているのでしょうか。

● 歳出全体に占める義務的経費の割合



義務的経費は10年間で84億円増えました。歳出全体に占める割合は、平成21年度で44.8%となっています。

3 「経常収支比率」は台所事情をあらわします。

★経常収支比率とは？

自由に使えるお金がどのくらいあるかがわかります。
社会経済や市民ニーズの変化に的確に responding していくための財源がどの程度確保されているかを示します。

算出方法は、

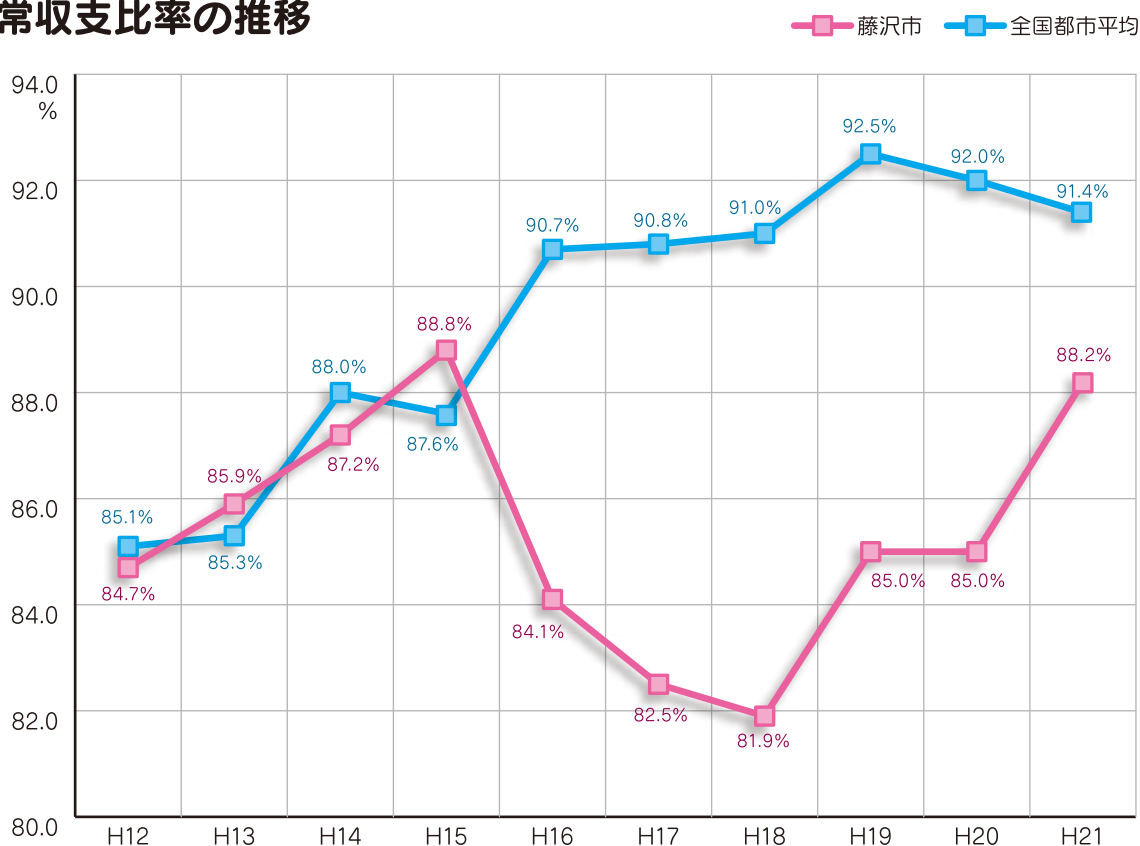
$$\frac{\text{毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源}}{\text{毎年度経常的に収入される一般財源}}$$

です。

給料に占める食費やローンの返済額の割合と同じで、比率が低ければ自由に使えるお金が多くなります。



●経常収支比率の推移



都市部では70～80%程度が望ましいと考えられています。80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあると言われてはいますが、大多数の市が80%を超えています。

藤沢市は平成15年度に88.8%まで上昇しましたが、その後、平成18年度までは臨時財政対策債の発行や市税等の増収により81.9%まで低下しました。平成21年度は法人市民税を中心とした市税の減、扶助費等の経常的経費の増により88.2%まで上昇しています。

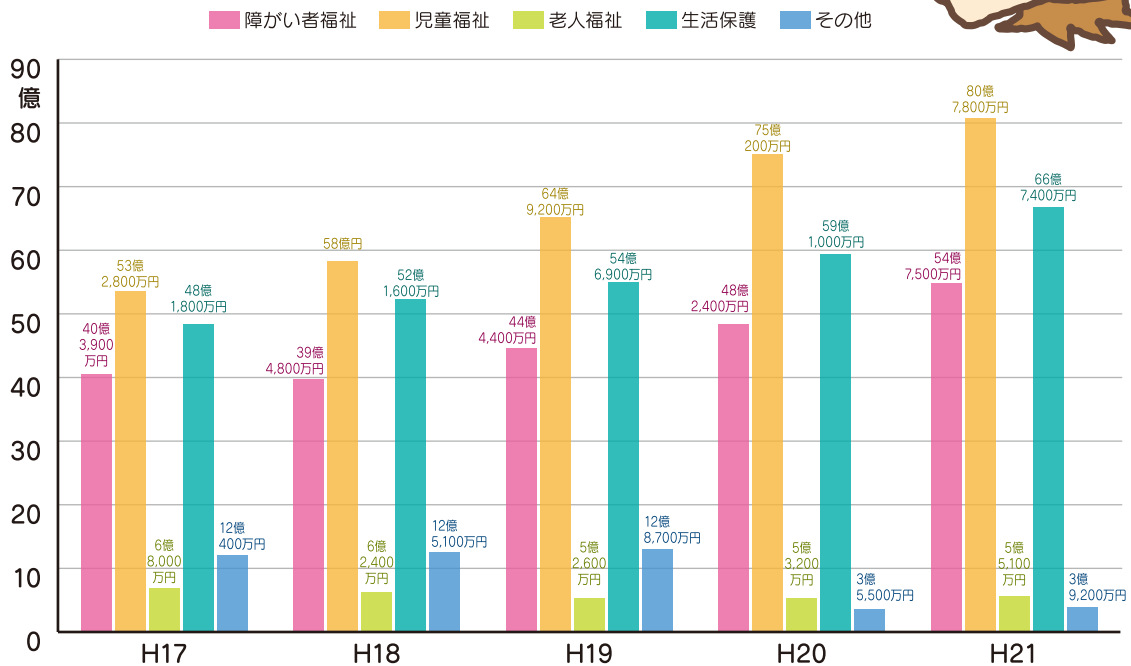
★一般財源とは？

使い道が特定されない何にでも使える収入のことです。主なものに市税、国からの譲与税、赤字債である臨時財政対策債などがあります。



ここでひと休み

扶助費は何が増えているのでしょうか？



子ども、生活困窮者、障がい者に対する扶助費が増えています。5年間でいずれも30%を超える伸び率です。特に児童福祉費は51.6%増となっています。

★要するに藤沢市の財政は大丈夫なの？

これまでいろいろと説明してきましたが、市の財政状況を示すいわば成績表ともいえる藤沢市の決算を見ますと、毎年、市が支払うお金（歳出）に比べ入ってくるお金（歳入）の方が多くなっていて、そのあまったお金を次の年度に繰り越して使っていることがわかります。（実質収支額）その金額は、平成21年度一般会計決算では約54億4千万円で、黒字決算となっています。

また、決算の額に基づいて全国同じ計算式にあてはめて答え（指標値）を出し、その数字で各市の財政の状態が前年に比べて良くなったのか、ほかの市に比べてどうかなどを比べています。

その指標値の一つに左ページの「経常収支比率」がありますが、その比率は神奈川県内（横浜市、川崎市を除く）17市の良い方から数えて2番目、全国でも786市の良い方から180番目です。

また、22ページの財務諸表の一つに貸借対照表がありますが、その左側（借方）は市が持っている土地や建物、現金などの資産を金額で表したもので、その金額は1兆5,767億円となっています。

右側（貸方）には、現在、市が国や銀行などから借りている金額や市が今後支払わなければならない金額（負債）が表されていますが、その割合は資産の額を100%とするとそのわずか7%です。

このように藤沢市の財政状況は、数字を見ても、ほかの市と比べても健全であり、大丈夫です。これからも市民の皆さんからの税金を大切に使用して、将来にわたって安心して住み続けてもらえるよう努力してまいります。



5

藤沢市の借金は どうなっているの？

① 借金はどれくらい？

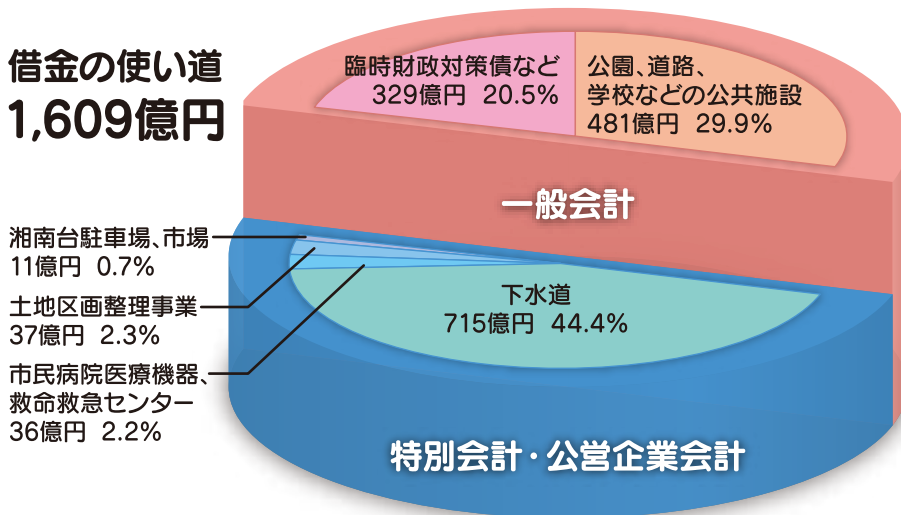
藤沢市の借金は、平成21年度に約82億円を新たに借り入れて、約133億円返済しました。

借金残高は、市全体で約1,609億円です。

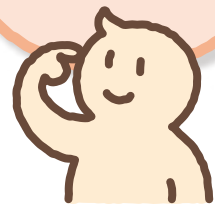


- 借金は、主に公園、道路、学校、下水道などの公共施設の整備に使われています。

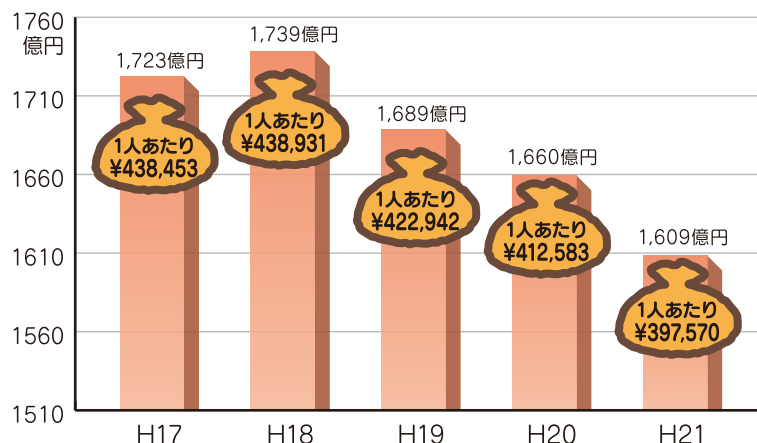
借金の使い道 1,609億円



市民1人あたりにすると
平成21年度中に
新たな借り入れ……約2万円
元金返済……約3万3千円
残高……約39万8千円



● 借金残高の推移



平成18年度までは、複数の大規模な建設事業を実施したため、借入額が返済額を超えたことにより増加しました。

★ 借金は他の市と比べて多いの？ 少ないの？

市民一人あたりを県内17市で比べると、少ない方から4番目です。

(普通会計という区分で比較)
(横浜市、川崎市を除く県内17市)

藤沢市
約21万円

最高 A市
約39万円

最低 B市
約17万円

17市平均
約25万円

県内少ない方から
4番目

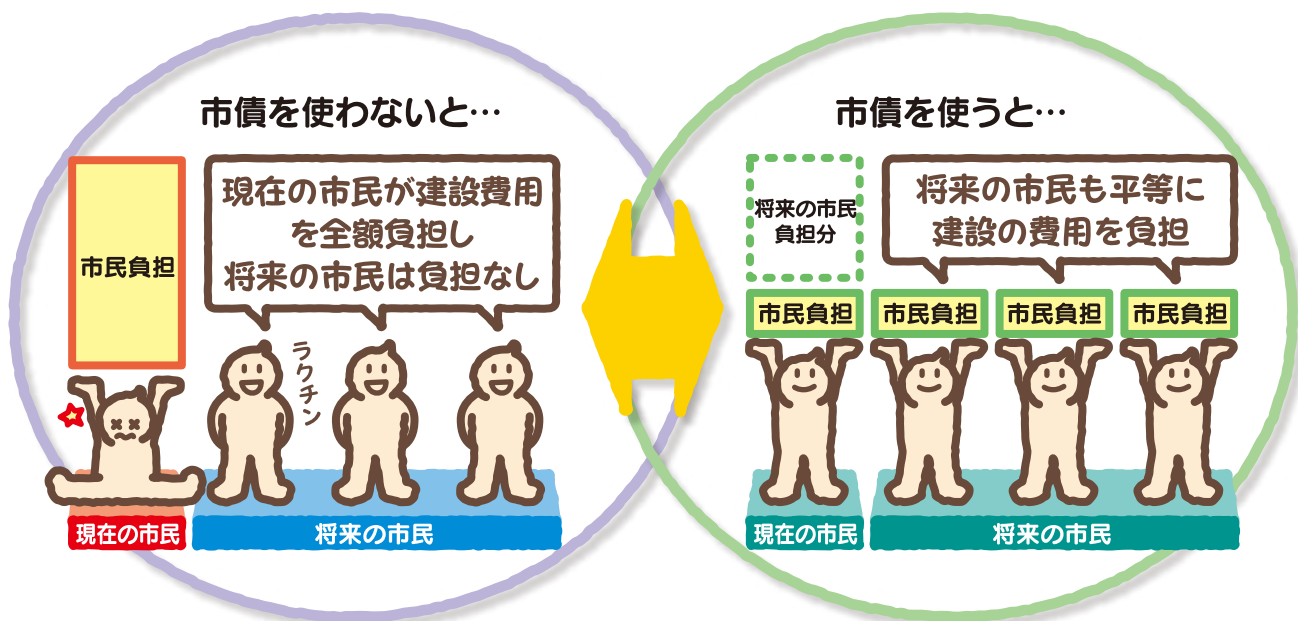


2 どうして借金をするの？

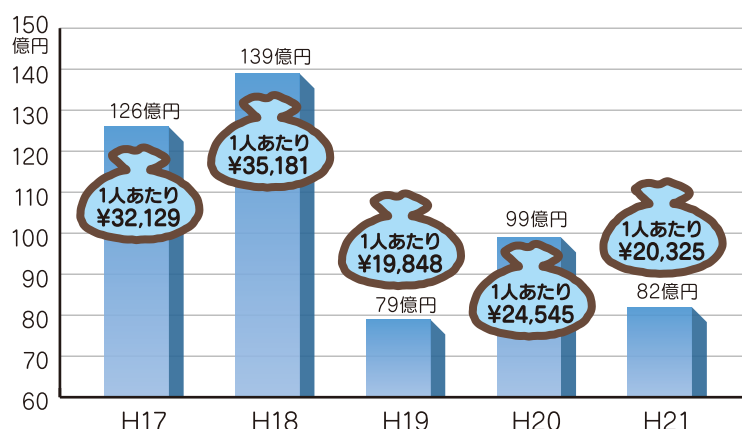
- 「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があります。

公共施設の整備には一時期に多額のお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。

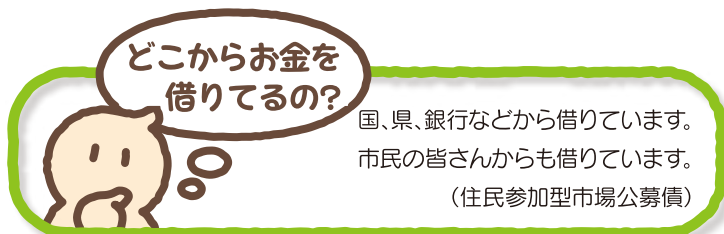
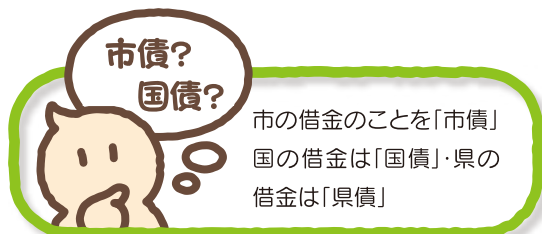
また、公共施設は現在の市民だけではなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債を活用して平等に費用の負担をお願いしています。



● 借入額の推移



平成18年度までは、北部焼却施設、保健所、救命救急センター(市民病院)など大規模な建設事業を実施したことにより増加しました。



3 借金の返済額は妥当なの？

●健全化判断比率から見てみよう

借金の返済額が身の丈にあったものかどうかを判断する基準に「実質公債費比率」というものがあります。収入に対して返済額がどの程度の割合になるのか。借金返済の負担が多すぎないかをチェックするものです。

借金漬けになる可能性が高いとされる目安25%に対して、藤沢市は6.9%（平成21年度決算）で良好な状態にあります。

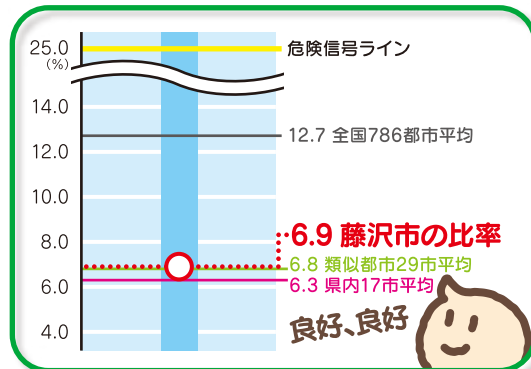


●家計に例えると(実質公債費比率)

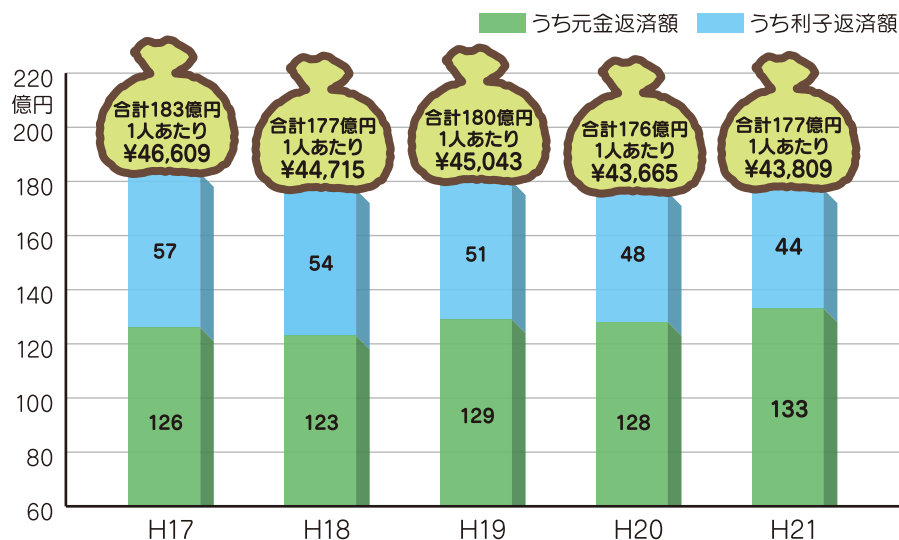
家や車のローン、クレジットカードで買い物をした支払いなどその年の返済額が、年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いという危険信号である状態を示しています。



●実質公債費比率(他市との比較)



●返済額の推移



返済総額と元金返済額は、ほぼ横ばいですが、利子返済額は借り入れ利率の低下により減少しています。

★財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」って？

財政破綻を未然に防ぐことを目的に「財政健全化法」という法律ができ、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」を議会や市民のみなさんに毎年公表することが義務づけられました。

健全化判断比率は、4つの指標①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率があり、赤字や負債(借金返済)の状況など4つの視点から示すものです。

①・②は年間の赤字の割合(①は一般会計等、②は全ての会計を対象)、③は借金の返済額の割合、④は将来の負担が見込まれる負債の割合をチェックするものであります。

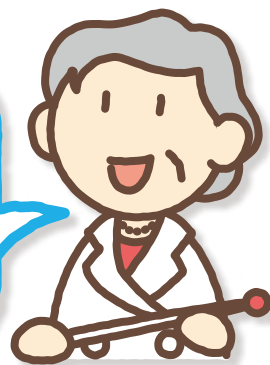


4 将来の市民に負担はかからないの？

●健全化判断比率から見てみよう

借金や数年間にわたる契約により約束された支払い、職員の退職金など、将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標として、「将来負担比率」というものがあります。負債にかかる負担が大きくないかをチェックするものです。

将来財政を圧迫する可能性が高いとされる目安350%に対して、藤沢市は38.1%（平成21年度決算）で良好な状態にあります。

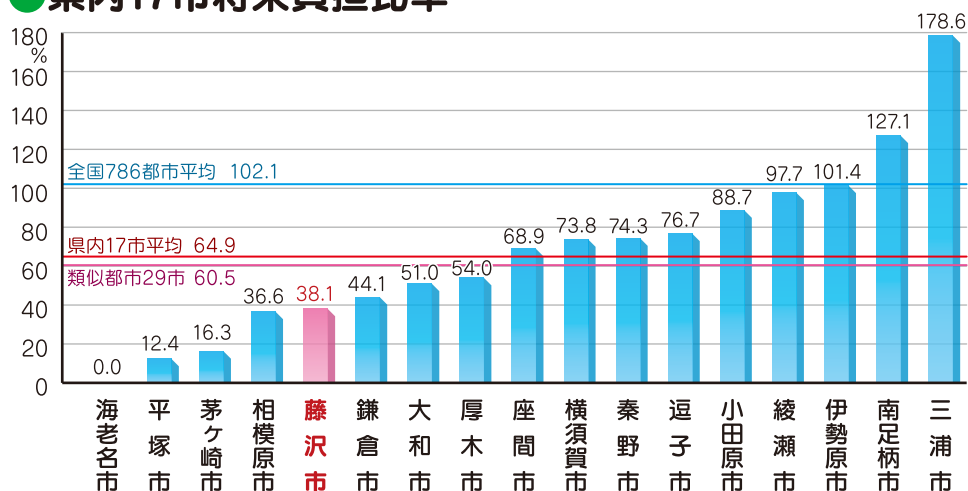


●家計に例えると(将来負担比率)

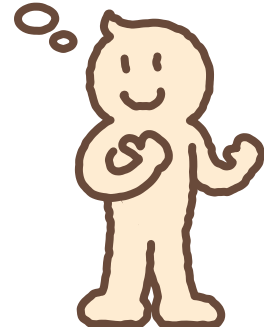
家や車のローンの残高、クレジットカードの支払い残高など、これから返済していかなければならない返済総額が、年収の3.5倍以上になった場合には、今後ローン返済などに追われ家計が成り立たなくなり、経済的苦境におちいる状態にあることを示しています。



●県内17市将来負担比率



県内5番目、いいんじゃない？



藤沢市の比率は、県内17市中、将来負担が少ないほうから数えて5番目であります。類似都市平均、全国平均からみても良好な状態にあるといえます。

(横浜市、川崎市を除く県内17市)



健全化判断比率からみた平成21年度の藤沢市の財政状況は、いずれの指標も危険信号を示す基準値を下回っており、「健全段階」であります。

●健全化判断比率

比率	藤沢市		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
	H21	H20		
実質赤字比率	—	—	11.25	20
連結実質赤字比率	—	—	16.25	40
実質公債費比率	6.9	8.4	25	35
将来負担比率	38.1	45.7	350	

※「—」は黒字

★早期健全化基準・財政再生基準とは？

市の財政状況が悪化し、危くなったときにイエローカード(早期健全化基準)で警告をします。

更に悪化し自主的に財政の立て直しができなくなったときは、レッドカード(財政再生基準)で、国・県の関与のもと、確実な財政の立て直しに着手することになります。

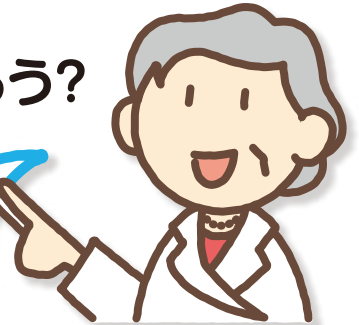


6

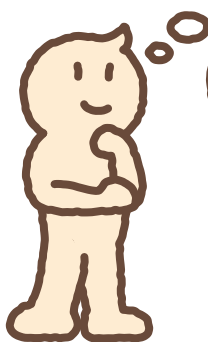
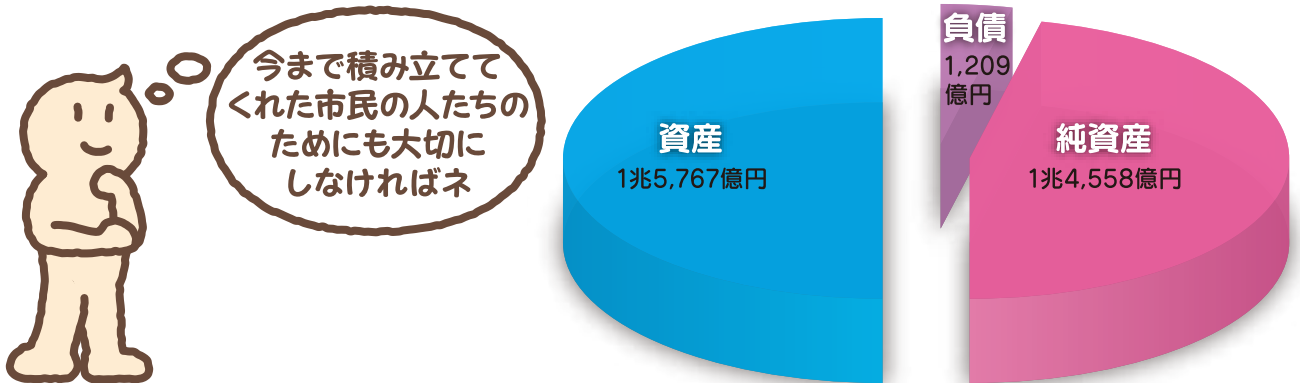
財務諸表でわかる藤沢市の財政状況

1 藤沢市にはどのくらいの資産があるのだろうか？

貸借対照表を見れば、藤沢市の資産、負債、純資産が一目でわかります。
資産、負債、純資産の割合を円グラフで表すと次のようになります。



●平成21年度 藤沢市 普通会計 貸借対照表における資産・負債・純資産の割合



今まで積み立ててくれた市民の人たちのためにも大切にしなければネ

藤沢市の資産は、これまでの世代の負担(純資産)によって築かれたものが大部分を占めていることがわかります。

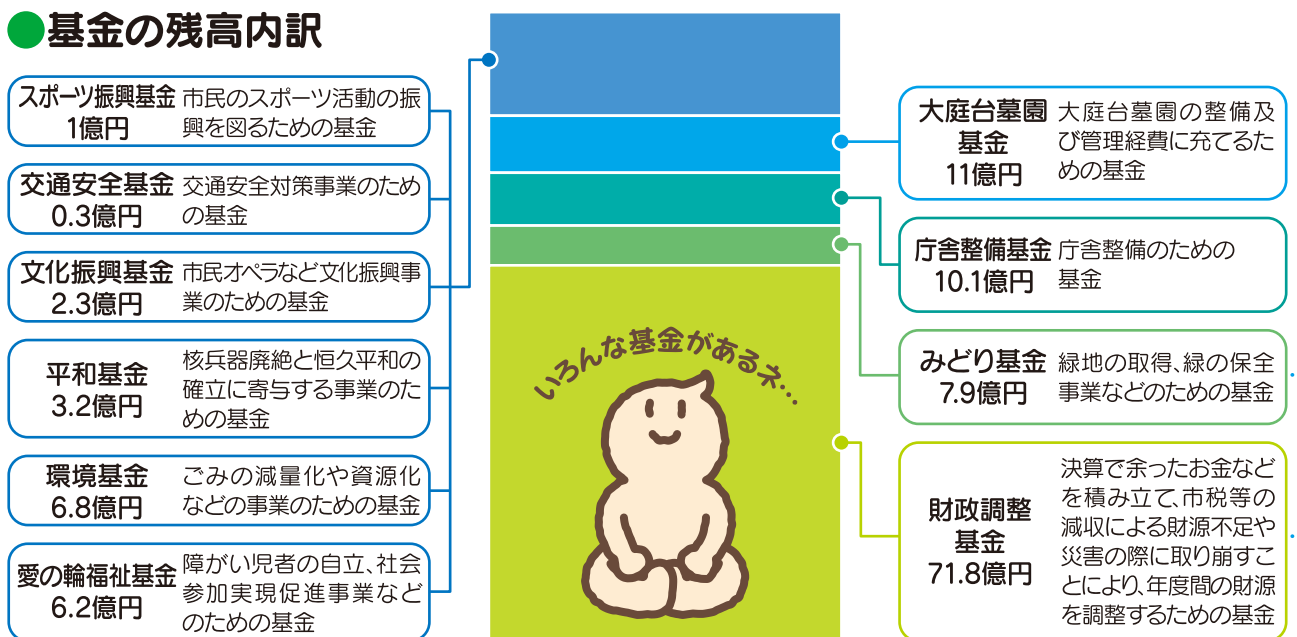
将来世代の負担となる負債は、資産に対して7.7%を占めています。

資産の中には、これまで積み立ててきた市の貯金ともいえる基金があります。

基金には寄附金や基金運用利子などを積み立て、それぞれの基金の目的に応じた事業に使います。



●基金の残高内訳



市が持っているすべての資産や負債などのストック(財貨の貯蔵量)の状況を表したものが貸借対照表です。

貸借対照表の左側(借方)には資産が、右側(貸方)には資産取得の財源が表示されます。右側の上部には資産の取得のために借り入れた借金などの負債が、右側の下部には、借金以外の財源である純資産がそれぞれ表示されます。



資産 = 負債 + 純資産

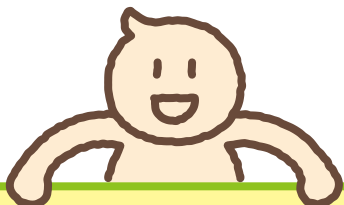
●平成21年度 藤沢市 普通会計貸借対照表 (平成22年3月31日現在)

	借 方	貸 方	
土地、建物、構築物、備品など	[資産の部]	[負債の部]	借り入れた市債のうち翌々年度以降の償還予定額
有形固定資産のうち未利用資産で売却が可能なもの	1.公共資産 1兆5,123億円	1.固定負債 1,077.6億円	全職員が年度末に自己都合退職したと想定した場合の退職手当額最大どれくらいの額が必要か見るためのもの
下水道などの企業会計や市出資団体などに対する出資金	(1)有形固定資産 1兆5,108.8億円	(1)地方債 754.8億円	借り入れた市債のうち翌年度の償還予定額
みどり基金など特定目的基金の残高	(2)売却可能資産 14.2億円	(2)長期未払金 126.6億円	翌年度支払予定額のうち21年度分を準備費用として積み立てるもの
市税等の収入未済額のうち21年度以前に発生した分のうちの未収額	(2)投資等 491.4億円	(3)退職手当引当金 196.2億円	これまでに資産や投資の取得財源として充てた額の累計
転居先不明等の理由で市税等の回収が困難であると見込まれる額	(1)投資及び出資金 423.5億円	(4)損失補償等引当金 -	市債のうち赤字債は資産の形成を伴わず、償還には今後の税収などを充てるため、この分は将来の一般財源が拘束されている。
財政調整基金 + 歳計現金	(2)貸付金 0.05億円	2.流動負債 131.2億円	資産を時価評価したことにより、取得時よりも資産価値が上がっていることを表している。
市税等の収入未済額のうち21年度に発生した分のうちの未収額	(3)基金等 48.8億円	(1)翌年度償還予定地方債 91.1億円	
	(4)長期延滞債権 28.8億円	(2)短期借入金 -	
	(5)回収不能見込額 △9.8億円	(3)未払金 9.8億円	
	3.流動資産 152.2億円	(4)翌年度支払予定退職手当 16.8億円	
	(1)現金預金 143.2億円	(5)賞与引当金 13.5億円	
	(2)未収金 9億円	負債合計 1,208.8億円	
	資産合計 1兆5,767億円	[純資産の部]	
		1.公共資産等整備国庫補助金等 834億円	
		2.公共資産等整備一般財源等 5,442億円	
		3.その他一般財源等 △398億円	
		4.資産評価差額 8,679.7億円	
		純資産合計 1兆4,557.7億円	
		負債・純資産合計 1兆5,767億円	

△表示はマイナスを表します。

●市民一人あたりの貸借対照表の値をしてみると

平成22年3月31日現在
藤沢市人口404,808人



市民1人あたりの有形固定資産

373万2千円



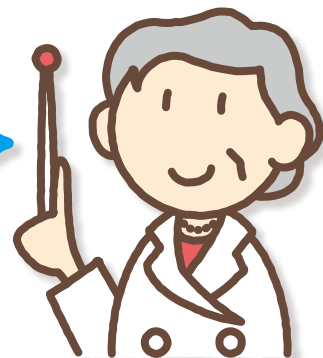
市民1人あたりの負債

29万9千円

2 純資産ってなんだろう？

純資産は、貸借対照表の右側(貸方)の下部に表示され、その左側(借方)の資産を取得する際の財源を表し、負債以外の財源を表しています。

純資産額が前年度末(期首)に比べ、どのように変動したかを示したものが純資産変動計算書です。



●平成21年度 藤沢市 普通会計純資産変動計算書

〔自平成21年4月1日〕
〔至平成22年3月31日〕

	純資産合計	公共資産等 整備 国県補助金等	公共資産等 整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	1兆4,699.6億円	814.5億円	5,350.8億円	△383.8億円	8,918.2億円
純経常行政コスト	△1,040.2億円			△1,040.2億円	
一般財源					
地方税	750.8億円			750.8億円	
地方交付税	0.5億円			0.5億円	
その他行政コスト充当財源	101.2億円			101.2億円	
補助金等受入	282.4億円	42.3億円		240.1億円	
臨時損益					
災害復旧事業費					
公共資産除売却損益	1.5億円			1.5億円	
投資損失					
損失補償等引当金繰入等					
科目振替※					
公共資産整備への財源投入			134.8億円	△134.8億円	
公共資産処分による財源増			△2.3億円	2.7億円	△0.4億円
貸付金・出資金等への財源投入			36.8億円	△36.8億円	
貸付金・出資金等の回収等による財源増			△29.5億円	29.5億円	
減価償却による財源増		△22.8億円	△106.4億円	129.2億円	
地方債償還に伴う財源振替			57.8億円	△57.8億円	
資産評価替えによる変動額	△238.1億円				△238.1億円
無償受贈資産受入					
その他					
期末純資産残高	1兆4,557.7億円	834億円	5,442億円	△398億円	8,679.7億円

行政コスト計算書の(差引)純経常行政コストの額と一致

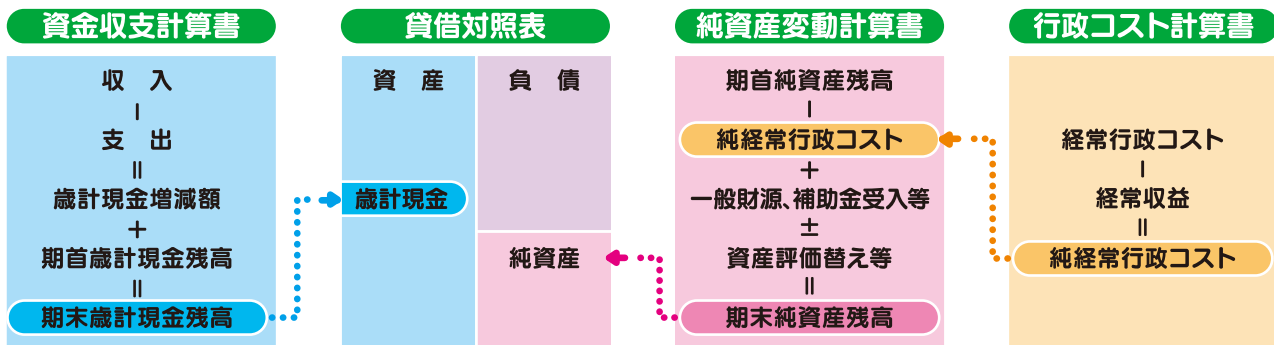
扶助費などに充てた国県補助金

資産を時価評価した結果、取得時よりも資産価値が増減することにより、その分純資産額も増減する。

※科目振替とは、公共資産等整備と一般財源の間でそれぞれに充てた財源の原因別の変動を示しています。

「地方債償還に伴う財源振替」は、公共資産等整備のための市債の返済を一般財源でおこなったため、「公共資産等整備一般財源等」へ振替えるものです。

● 財務諸表4表の関連



財務諸表の4表には、次のような相互関係があります。

貸借対照表の純資産は純資産変動計算書の期末残高と一致し、貸借対照表の歳計現金は資金収支計算書の期末残高と一致し、行政コスト計算書の純経常行政コストは純資産変動計算書のそれとそれぞれ一致します。

★ 資産老朽化比率

土地を除く有形固定資産合計額に対する減価償却累計額の割合を算出することにより、資産が耐用年数に対して取得からどの程度経過しているのかを表しています。

以下の5市の中では、藤沢市の施設は二番目に老朽化が進んでいることがわかります。

藤沢市	茅ヶ崎市	大和市	秦野市	町田市
45.3%	45.6%	42.8%	42.5%	43.3%



★ 受益者負担比率

経常収益は市民のみなさんが支払う使用料や手数料などの受益者負担金の総額です。行政コストに対する割合を算出することにより、受益者負担の割合を表しています。

経常収益では経常行政コストの4.4%しかまかなえていないことがわかります。

しかし、藤沢市ではごみの有料指定袋制が導入されていることなどから、他市に比べて比率が高くなっています。

藤沢市	茅ヶ崎市	大和市	秦野市	町田市
4.4%	3.7%	3.9%	3.2%	3.4%

藤沢市の割合は
4.4%です



★ 市の決算と財務書類のちがいは



現在、市の決算は現金ベースです。お金が入ってきて収入となり、お金が出ていって支出となります。

入ってきたお金を支出に充てるため、収入と支出は同じ額となります。

貸借対照表では、土地や建物などの資産がどのくらいあるか、債権がいくらあってそのうち現金化されたものがどのくらいあるか、借金が全体でどのくらいあって、いくら残っているかなど、全体の財政状況がわかるようになります。

全体の債権額と実際に現金化された額(収入済額)との差額は、貸借対照表では未収金となり、その後現金が入ることによって未収金が減っていくこととなります。

3 藤沢市の行政サービスにはどのくらいのコストがかかっているのだろう？



ごみの収集や福祉サービスの提供など資産の形成に結びつかない行政サービスにどれだけ費用(コスト)がかかり、それをどのような収入でまかなったかを表すものが行政コスト計算書です。

●平成21年度 藤沢市 普通会計行政コスト計算書

〔自平成21年4月1日
至平成22年3月31日〕

【経常行政コスト】

		総額	構成比率
<p>貸借対照表に計上した退職給与引当金の前年度からの増減額に21年度の退職手当を加算したもの</p>	(1)人件費	222.5億円	20.4%
	(2)退職手当引当金繰入等	22.1億円	2.0%
	(3)賞与引当金繰入額	13.5億円	1.2%
	小計	258.1億円	23.7%
<p>老朽化などにより市の施設等を補修する経費</p>	(1)物件費	189.6億円	17.4%
	(2)維持補修費	8.2億円	0.8%
	(3)減価償却費	129.2億円	11.9%
<p>扶助費などの経費</p>	小計	327億円	30.1%
<p>個人や団体等の活動に対して交付する補助金など</p>	(1)社会保障給付	211.7億円	19.5%
	(2)補助金等	111.8億円	10.3%
	(3)他会計等への支出額	157.4億円	14.5%
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	2.1億円	0.2%
<p>市債の支払利息</p>	小計	483億円	44.4%
<p>貸借対照表に計上した回収不能見込額の前年度からの増減額に21年度の不納欠損額を加算したもの</p>	(1)支払利息	16.8億円	1.5%
	(2)回収不能見込計上額	3.2億円	0.3%
	(3)その他行政コスト	0	0.0%
小計	20億円	1.8%	
経常行政コスト a		1,088.1億円	

【経常収益】

使用料・手数料 b	38.1億円
分担金・負担金・寄附金 c	9.8億円
経常収益合計 (b + c) d	47.9億円
d / a	4.4%
(差引)純経常行政コスト a-d	1,040.2億円

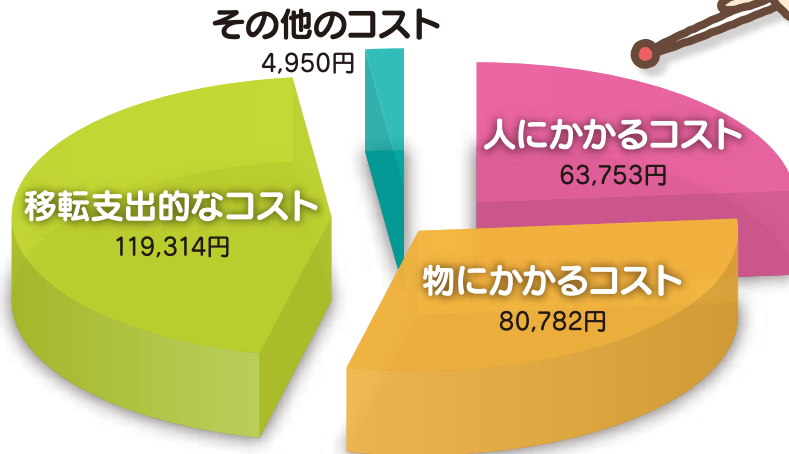


差引の「純経常行政コスト」は、市税などの一般財源や国県からの補助金などでまかっています。

さて、市民1人あたりの行政コストはどのくらいかかっているのでしょうか。
下のグラフを見てください。



●平成21年度 藤沢市 普通会計 行政コスト計算書
における市民一人あたりの経常行政コスト



市民一人あたりの
経常行政コスト
合計 268,799円

4 市の財産のうち現金の動きを見てみよう

貸借対照表の左側(借方)、資産の部に計上されている現金をその支出の性質から3つにわけて、現金の変動を表すものが、資金収支計算書です。

資金収支計算書は、引当金や減価償却費などの現金でない支出を含まないことから、ほかの財務書類とちがひ、現金のみの表示となっています。市の決算書に一番近い財務書類といえます。



●平成21年度 藤沢市 普通会計 資金収支計算書

〔自平成21年4月1日
至平成22年3月31日〕

1. 経常的収支の部	
支出合計	916.7億円
収入合計	1,171.6億円
経常的収支額	254.9億円

翌年度繰上充用金増減額	—
当年度歳計現金増減額	△8億円
期首歳計現金残高	79.4億円
期末歳計現金残高	71.4億円

2. 公共資産整備収支の部	
支出合計	207.2億円
収入合計	67.3億円
経常的収支額	△139.9億円

3. 投資・財務的収支の部	
支出合計	144.6億円
収入合計	21.6億円
投資・財務的収支額	△123億円



期末は年度末をさし、それに対して年度初めのことを期首といいます。

公共資産整備収支と投資・財務的収支は赤字となっており、その赤字分を経常的収支の黒字分で補っていることがわかります。

ホームページで
ご覧ください「**藤沢市の借金時計**」

❓「借金時計」って一体どんな時計？ 借金で買った時計なの??

自治体の借金残高が1秒単位にどう変わっていくのかを
デジタル時計のように表示したものを「借金時計」といいます。

インターネットでは、「日本の借金時計」や「全国都道府県の借金
時計」などを見ることができますが、全国の市町村では、この借金
時計を公開している自治体はまだまだ少ない状況です。



藤沢市のホームページにて公開していますので、
みなさん是非一度ご覧ください！

藤沢市の市債(借金)の残高は

2011年 3月 3日 19時 19分 0秒 現在

1556億 1147万 9350円 36銭 です。

2種類の表示ができます。表示したい項目の○をクリックして選択して下さい。

- 一般会計
- 全会計＝一般会計＋特別会計＋企業会計

家計の収支にたとえると

一般会計・生活費に使うお金
特別会計・教育資金など区別して使うお金
企業会計・生活費と切り離している商売のお金

一時間あたり 約 65万 9130円 減っていきます。

一秒あたり 約 183円 減っていきます。

借金時計のこまかい内訳は[こちら](#)

※参考：[年度別市債借入・償還及び残高の状況\(一般会計\)](#)

アクセスは、[藤沢市ホームページ](#)>各課のご案内>財政課>借金時計

URLは<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/zaisei/page100095.shtml>

または「藤沢市の借金時計」をキーワードにして検索するとご覧になれます。

※各ページの表中の数値について、その積み上げと合計が一致しないところがあります。

わかりやすい 藤沢市の財政2011

平成23年度予算と平成21年度決算のデータ使用により作成
2011年3月 発行

発行/藤沢市財務部財政課

〒251-8601 藤沢市朝日町1-1

電話 0466-25-1111(代表) 内線2302

FAX 0466-50-8405

E-mail zaisei@city.fujisawa.kanagawa.jp

ふじさわの
財政のこと、もっと
理解しなきゃ…

